

令和
7年度

事業所における自己評価総括表(公表)

こんぱす仏生山



○事業所名	こんぱす仏生山		
○保護者評価実施期間	令和7年9月10日	～	令和7年9月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	令和7年9月5日	～	令和7年9月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月8日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業を展開しており、系列事業所との連携があります。 各担当者が会議や勉強会をおこなっており、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れて、計画書や日々の療育に取り入れております。	各担当毎に事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体での会議や勉強会が実施されています。 複数の地域に事業所があるので、不明な点などは指定権者に確認をし、法令に沿った事業所運営をおこなっております。	児童が楽しみながら通所でき、成長を実感できるとともに、安心して利用できる事業所運営を継続し、法令を遵守しながら質の高い支援の提供に努めてまいります。
2	事業所が1フロアになっているため、集団での運動療育が実施しやすく、様々な年齢の児童や職員との交流がしやすい環境になっています。	運動療育では理学療法士が中心となり、様々な年齢の集団での活動を取り入れています。 まだ余暇時間を過ごす際には1つのフロアで過ごすため職員の見守り体制も強化でき、児童同士の交流を促しています。	引き続き多様な運動療育プログラムを実施し、集団活動を通して社会性や協調性を育むことができる環境づくりに努めてまいります。
3	季節ごとの製作や、イベントを企画し楽しんで通所していただけるような工夫をしています。	児童それぞれの課題に応じた季節ごとの製作を行い、日本の四季を感じてもらうとともに手指の巧緻性を高める活動を行っています。	今後も継続して多様な制作活動や行事を取り入れ、楽しみながら成長につながる支援をおこなってまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育室が1部屋しかないため、落ち着いて過ごした児童や、クールダウンしたい児童の場が確保しにくい環境にあります。	建物の構造上の問題もありますが、室内を区切るためのパーテーションや衝立がありません。	パーテーションや衝立の設置等により空間を適切に区分し、児童が安心して落ち着いて過ごせる環境整備に努めてまいります。
2	未就学児向けの教材が少ないです。	今まで未就学児のご利用者様が少なかったため、手先の課題などが多くありません。	未就学児の利用状況に応じて、発達段階や特性に合わせた教材の充実を図り、適切な支援が提供できるよう努めてまいります。
3	地域の方との交流や、こんぱす外での活動が少ないです。	コロナなどの感染症をきっかけに地域の方との交流が難しくなっていることと、安全面からこんぱす外での活動が難しいことが考えられます。	児童の安全面に十分配慮しながら、地域との交流や事業所外での活動について検討し、社会性の向上につながる機会の確保に努めてまいります。



公表日：令和8年3月17日